

研究・教育活動に対する受賞・表彰情報

| | | |
|-------|---------------------------|------------------|
| 氏名 | 川久保 俊 | デザイン工学部建築学科 専任講師 |
| 受賞・表彰 | 2016 年度日本建築学会奨励賞 | |
| 論文題目 | CASBEE 都市による全国市区町村の環境性能評価 | |

研究目的

- ・全国の基礎自治体の実態や課題の把握、将来計画の策定・立案を支援

研究方法

- ・全国基礎自治体の持続可能性評価手法（評価システム）の開発
- ・各省庁の基幹統計をはじめとする公開統計情報に基づく全国基礎自治体の評価の実施

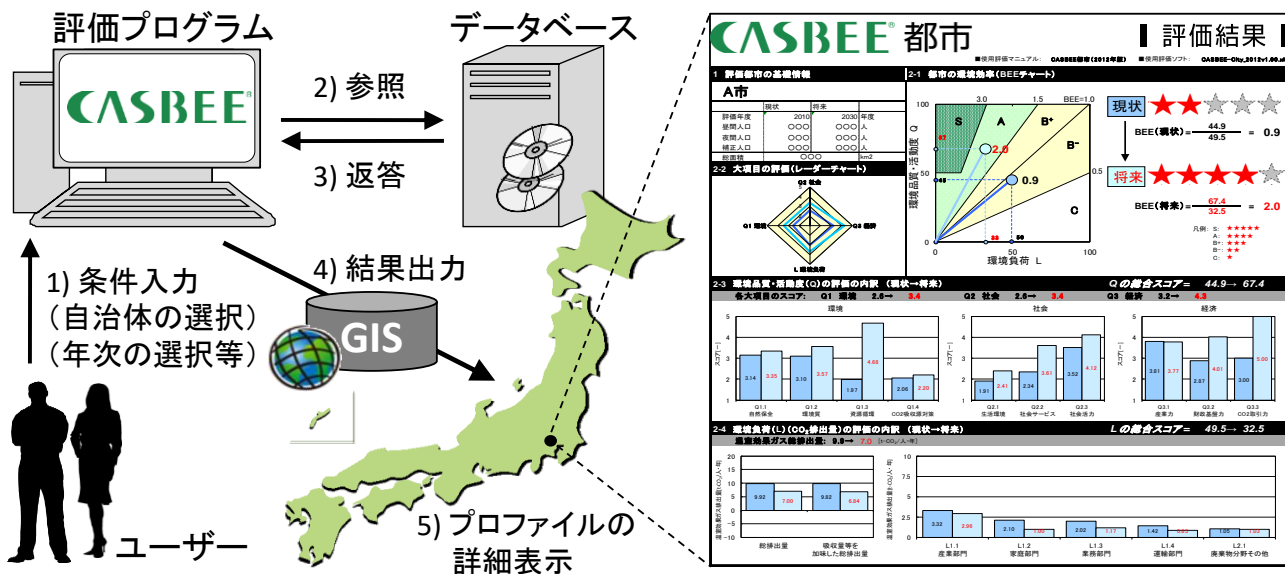


図 1. 開発した全国基礎自治体の持続可能性評価システム（CASBEE 都市）の全体概要

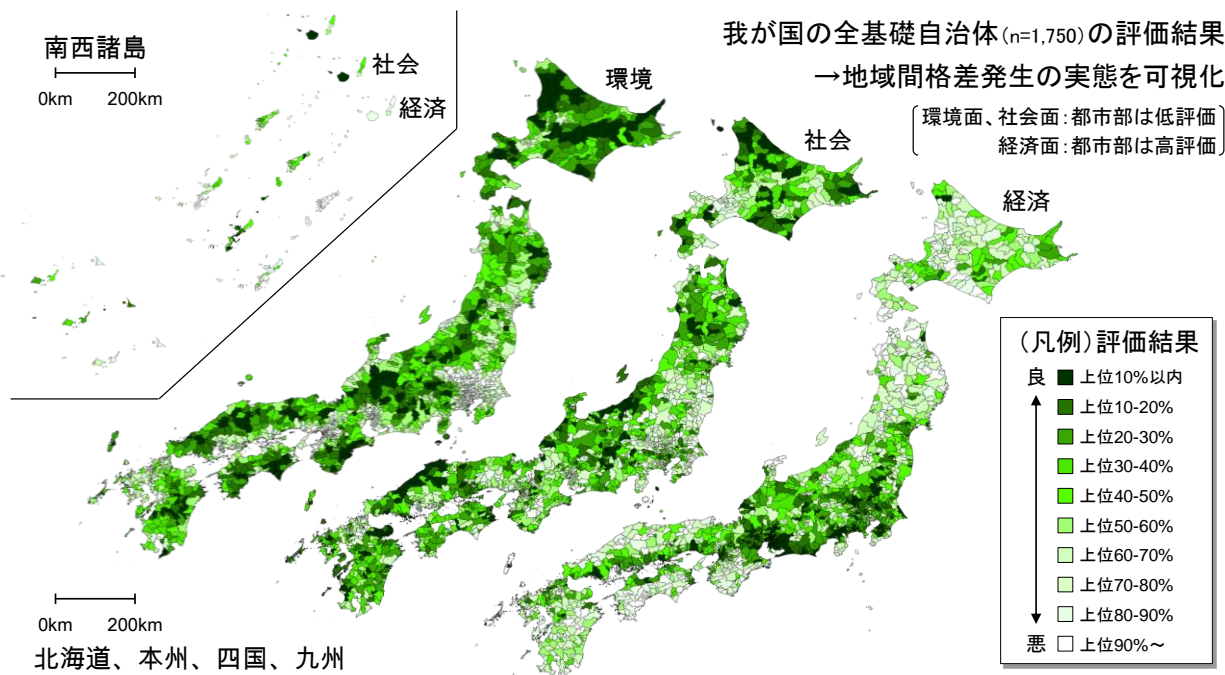


図 2. 全国自治体の環境面（上）、社会面（中）、経済面（下）の評価結果（2010 年）

研究結果

- ・2010 年時点における我が国の全基礎自治体（n=1,750）の持続可能性評価を実施した結果、環境面、社会面、経済面いずれも地域間格差が生じている実態が明らかとなった。

受賞対象論文：

CASBEE 都市による全国市区町村の環境性能評価

日本建築学会環境系論文集 第 78 巻第 683 号/pp.63-72/2013 年 1 月

選評

本論文は、市区町村の実態を総合的に評価することを目的とし、そのツールとして「CASBEE 都市」を採用し評価体系の改善を試みた研究である。改善点は 2 つあり、公開情報のみによって評価できるよう評価項目を改めたこと、自治体の実施する施策の効果が、その努力量によって評価結果に反映するようなレーティング手法を新たに提案したことである。以上の改善により、統一された評価基準で一律の比較評価を行うことが可能となった。手法を提示した後、全国 1750 の基礎自治体についてスコアを算定した結果、特定のレーティング値に集中していた従来の手法の欠点が解消されたことを確認している。全国の市区町村の環境効率を一律の評価基準により評価するという目的に対して、「CASBEE 都市」をベースに、これに適切な改善を加えた本研究の着眼は的を射たものであるといえる。また今後の発展が期待される優れた研究内容であり、奨励賞にふさわしいものとして高く評価できる。

出典: 日本建築学会ウェブサイトより引用

http://www.aij.or.jp/images/prize/2016/pdf/6_award_004.pdf